

**公益財団法人 日本バレーボール協会**  
**第13期・2022年度事業計画**  
**(2022年4月1日～2023年3月31日)**

公益財団法人日本バレーボール協会（以下 JVA）は、前年度に発生したビーチバレーボール国際大会のエントリーキャンセル手続きに端を発した不祥事により、会長及び事務局長が辞任するといった未曾有の事態を招いたことを真摯に受け止め、組織体質とガバナンス体制について不断の努力で改善を図り、会員、ファン、選手、関係団体など、関係者の皆様の期待に応えるべく信頼回復に全力を傾ける1年と位置付けます。

また、2022年度は、パリオリンピックや世界選手権などの国際大会に向けて、選手を育成強化し、国内競技会や各種事業も推進しながら、普及目標および強化目標の達成に向けた重点的な事業・施策を盛り込み、バレーボールの魅力向上の達成に向けて全力で取り組みます。

**<2022年度の基本方針>**

**1. 組織基盤の立て直し**

- (1) スポーツ団体ガバナンスコードに適合する組織体質の改善とガバナンス体制の見直しおよび運営を推進する実行プロセス（戦略・業務・人事）の強化を図りながら、自らを厳しく律するとともにバレーボール界を統括する団体としての責任を果たす。
- (2) 競技団体としての存在意義や果たすべき役割・目的を明確にし、その実現のために必要な機能や役職員の円滑な意思決定および事業推進のための手段を確立する。

**2. 財政改革**

- (1) 2022年度は、収入拡大・費用削減を実行し安定した財政を確保する。
- (2) 協会一体となって収入の柱である協賛金の獲得に注力する。

**3. 強化事業**

- (1) バレーボール男女日本代表チーム新監督の指揮のもと、2024 パリオリンピックを見据えた強化指針に基づいた代表チームの編成と継続してきた強化策を確実に実行し、国際大会等において実践する。
- (2) ビーチバレーボール選手の発掘・育成・強化について、アンダーカテゴリーからの一貫した強化対策などの実行計画を策定する。
- (3) バレーボール・ビーチバレーボールともに代表選手の露出増加を図り、新たなファン獲得を目指す。

**4. 普及施策**

- (1) 「する・観る・支える」の観点から、誰もが身近にバレーボールを楽しめる環境をつくる。
- (2) 学校現場における事業を中心として、競技者人口拡大プロジェクトを推進する。

## 5. 加盟団体連携

- (1) 都道府県協会および全国連盟の課題等について意見交換を行い、抱えている問題や情報を共有しながら対策を講じるとともに加盟団体の事業を支援する。
- (2) 各種事業について加盟団体との連携を促進し、相互の協力体制により円滑な事業運営を目指す。
- (3) バレーボールに関わる暴力・体罰・各種ハラスメントの根絶のためにバレーボール界一丸となって取り組む。

### <重点実施項目>

#### 1. 中期経営計画の策定と公表

公共性の高いスポーツ団体として安定的かつ持続的な組織運営を実現するため、ミッション・ビジョンを共有し、その実現に向けて、「組織体質とガバナンス体制の強化」「財務基盤の安定化を推進」するための戦略を定めた中期経営計画を速やかに策定し公表する。

#### 2. 人員計画と育成策の策定

中期経営計画を遂行する人員計画と育成施策を策定し公表する。策定にあたっては、世代交代の円滑な推進、各業務分野の人員配置の適正化を図る。

#### 3. 組織運営体制の整備

- (1) ガバナンスの高度化を目指し、公正性や透明性のある意思決定の仕組みを整える。
- (2) コンプライアンスを最優先の重要課題とし、委員会その他必要な体制を整える。
- (3) 内部統制の強化に資する体制を速やかに整える。そのために必要となる組織・規程の見直しも同時に進める。

#### ★略称解説★

AVC	アジアバレーボール連盟 (Asian Volleyball Confederation)
BVT	ジャパンビーチバレーボールツアー
FISU	国際大学スポーツ連盟 (International University Sports Federation)
FIVB	国際バレーボール連盟 (Fédération Internationale de Volleyball)
JOC	公益財団法人日本オリンピック委員会 (Japanese Olympic Committee)
JSC	独立行政法人日本スポーツ振興センター (Japan Sport Council)
JSP0	公益財団法人日本スポーツ協会 (Japan Sport Association)
NF	各国のバレーボール協会 (National Federation)
NTC	味の素ナショナルトレーニングセンター (National Training Center)
VNL	バレーボールネーションズリーグ (Volleyball Nations League)
Vリーグ機構	一般社団法人日本バレーボールリーグ機構

## <事業活動>

### 1. 競技力向上事業及び競技力向上に係る日本代表選手団国際大会派遣事業

#### 【バレーボール】

##### (1) 各カテゴリー日本代表チームの選手育成・強化事業

全国の社会人、大学生、高校生の中から選抜された有力選手による日本代表チームを編成し、国際競技力向上を図るため以下の諸事業を行う。

##### 1) 男子・女子日本代表チーム強化目標

新たに男子：フィリップ・ブラン監督、女子：眞鍋政義監督が就任し、新体制でまずはパリオリンピック出場権の獲得を必達目標に、最終的には（男子：ベスト4以上、女子：メダル獲得）に向けて強化を推進する。

男子は、中垣内前監督体制でコーチとして指導したフィリップ・ブラン氏の継続による更なるレベルアップ。女子は、ロンドン、リオ両オリンピックを戦い抜いた眞鍋氏の経験を土台に、新たな飛躍を目指す。

5月末から7月下旬まで行われる予定のバレーボールネーションズリーグ（VNL）においては、男女ともに世界ランク上位チームへの勝利を目指し、2022年度のメイン大会となる世界選手権の目標（男子：ベスト8、女子：ベスト4）達成への足掛かりとする。

また、アジア競技大会（中国開催）は、男女とも世界選手権とスケジュールが重なるため、メンバーは次代を担う有望な若手も起用しながらフル代表に準ずる構成とし、上位進出を目指す。

■男子：国内合宿・NTCを中心に強化合宿を実施、VNL大会前に強化試合を予定

■女子：国内合宿・NTCを中心に強化合宿を実施、世界選手権大会前に強化試合を予定

注）日本代表チームとはトップレベル選手で構成された日本代表チーム

##### 2) 男子・女子ユニバーシアード日本代表チーム強化合宿

6月に中国・成都で開催される FISU ワールドユニバーシティゲームズで、男子はメダル獲得を目標に、選手強化合宿を行う。

女子は同大会での4大会連続のメダル獲得を目標に、選手強化合宿を行う。

■男子：国内合宿・NTC 及び他で実施

■女子：国内合宿・NTC 及び他で実施

注）ユニバーシアードチームとは、主に大学生を中心に構成される日本代表チーム

##### 3) 男子U20・女子U19日本代表チーム強化合宿

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、男女ともここ2年に渡り主要大会に出場できていない。特に女子は世界選手権連覇がかかっていた大会の欠場を余儀なくされた。アンダーエイジカテゴリーのこれ以上の強化の停滞を招くことがないよう、関係各所と連携し強化を推進する。

男子：2020年度前回中止となったアジア選手権に出場し、2018年度前々回大会13位の屈辱を晴らすべく、世界選手権出場権の獲得を目指し、強化合宿を実施する。

女子：男子同様、前回中止となったアジア選手権に出場し前々回大会に続く連覇、世界選手権出場権を獲得するべく強化合宿を実施する。

■男子：国内合宿・NTC 及び他で実施

■女子：国内合宿・NTC 及び他で実施

注) 男子U20・女子U19 チームとは、男子が2003年1月1日以降に、女子が2004年1月1日以降に出生した選手で構成される日本代表チーム

#### 4) 男子U18・女子U17 日本代表チーム強化合宿

3) と同様の事情により、男女とも世界選手権出場の辞退を余儀なくされた。コロナ禍でも安心安全を担保しながら強化できるよう、関係各所と連携しながら推進する。

男子：現在まで連覇中のアジア選手権に出場し3連覇、世界選手権出場を目指し、強化合宿を実施する。

女子：7連覇中のアジア選手権に出場し、連覇更新、世界選手権出場を目指し、強化合宿を実施する。

■男子：国内合宿・NTC 及び他で実施

■女子：国内合宿・NTC 及び他で実施

注) 男子U18・女子U17 日本代表チームとは、男子が2005年1月1日以降に、女子が2006年1月1日以降に出生した選手で構成される日本代表チーム

- (2) 競技活動を行う選手の競技・練習環境の整備、セカンドキャリアに関する啓発、情報発信 JOC、JSC 等と連携し、ナショナルトレーニングセンター内のバレーボール専用コート他の継続的な環境整備を実施する。

また、選手のセカンドキャリアについても JOC の協力を仰ぐ等実施していく。

#### (3) 将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業

##### 1) 全国小学生・中学生・高校生長身選手の発掘育成事業

将来有望な長身選手の発掘、育成、強化を目的に、公募および推薦によるオーディションを行い、選抜した有望選手の育成強化合宿を実施する。そして、有望選手のリストを小学生・中学生から高校生までもデータ化し、選手情報を経年的に強化委員会等で共有する。

また、年1回各カテゴリー（中学生・高校生）別の有望選手達による選抜チームを編成し、海外で外国人チームとの国際試合を行い、国際的に通用する選手の育成を行う。

※ 海外への渡航ができなくなった場合は、各カテゴリー別で複数の選抜チームを編成しての対戦を行う。加えて、将来のオリンピックを見据えたターゲット選手を選定し、それらの選手の一貫指導を実施していく。

#### (4) 競技力向上にかかわるバレーボール技術・戦術の調査研究及びスポーツ医・科学の調査研究事業

- 1) 日本代表選手の科学的測定評価、測定結果に基づくトレーニング処方立案とサポート
- 2) 日本代表チームとの対戦が想定される外国チームの戦力掌握
- 3) トレーナーおよびアナリストの育成、教育を行って日本代表チームに派遣するとともに、日本代表チームが利用する機材およびデータの管理・運用

- 4) 日本代表チームにドクターを派遣し、歯科・整形外科診断を中心に選手の健康維持、怪我防止及び傷害発生時の対処、薬剤を手配
- 5) アンチ・ドーピングの啓発を含むスポーツ・インテグリティの向上をはかる
- 6) 感染症専門ドクターからの示唆を仰ぎ、コロナ感染症対策を十分に実施したうえで安心・安全なトレーニング環境を創る

(5) 各カテゴリー日本代表選手団の国際大会派遣事業

選手、チーム強化合宿の効果を検証するとともに、実戦（試合）を経て得られる技術、戦術の他総合的な競技力向上を目的として、以下の各大会に日本代表選手団を派遣する。

1) 男子：

<日本代表>

- ・FIVB バレーボールネーションズリーグ 2022 ※6/7～7/24  
①ブラジル／②フィリピン／③大阪／ファイナル（未定）
- ・AVC カップ 8/7～14 台湾
- ・2022 男子世界選手権 8/26～9/11 FIVB 保留  
※ロシア開催 変更発表中
- ・第 19 回アジア競技大会 9/10～25 中国  
※変更可能性あり

<アンダーエイジカテゴリー（年代別日本代表）>

- ・FISU ワールドユニバーシティゲームズ 6/26～7/7 中国
- ・第 14 回男子 U18 アジア選手権大会 8/15～22 イラン
- ・第 21 回男子 U20 アジア選手権大会 8/22～29 バーレーン

2) 女子：

<日本代表>

- ・FIVB バレーボールネーションズリーグ 2022 ※5/31～7/17  
①アメリカ／②フィリピン／③カナダ／ファイナル（未定）
- ・AVC カップ 8/21～28 フィリピン  
※アジア競技大会の兼ね合いにより出場辞退の可能性あり
- ・第 19 回アジア競技大会 9/10～25 中国  
※変更可能性あり
- ・2022 女子世界選手権 9/23～10/15 オランダ・ポーランド

<アンダーエイジカテゴリー（年代別日本代表）>

- ・FISU ワールドユニバーシティゲームズ 6/26～7/7 中国
- ・第 14 回女子 U17 アジア選手権大会 6/6～13 ウズベキスタン
- ・第 21 回女子 U19 アジア選手権大会 7/4～11 カザフスタン

## 【ビーチバレーボール】

### (1) ビーチバレーボール男女日本代表チーム

6月開催の世界選手権大会での目標（女子：出場権獲得）、9月開催のアジア競技大会での目標（男子：ベスト8・女子：メダル獲得）達成のため、強化指定選手の強化と国際大会への派遣を行う。アジア競技大会を中心として、以下の大会が開催される。

- ・第19回アジア競技大会（2022/杭州）（中国／杭州） 9/10-25
- ・FIVB ビーチバレーボール世界選手権大会（イタリア／ローマ） 6/7-19
- ・AVC アジアツアー（アジア各地で開催予定）
- ・AVC アジアチャンピオンシップ（日程・開催地未定）
- ・ビーチプロツアー2022（3月以降開催予定、詳細は一部を除き未発表）

### (2) ビーチバレーボール年代別男女日本代表チーム

将来有望選手の発掘、育成、強化を目的に、選抜した選手を十分な準備を行った上で以下の年代別国際大会に派遣する。また計画的な発掘・育成を通じた長期的な強化を目指して新たに取り組む「J-STAR プロジェクト」に加え昨年からの「ハイポテンシャルアスリート構想」を推進し、高校生、大学生を取り入れU17・U19・U21を見据えたアンダーエイジカテゴリー世代の強化を目指す。

- ・U-19 ビーチバレーボールアジア選手権大会（タイ／ローイエット） 6/2～5  
※ 本大会にて5位以内で世界選手権大会の本戦出場権、9位以内で予選からの出場権を獲得し、本戦での上位進出を狙う。
- ・U-19 ビーチバレーボール世界選手権大会（トルコ／ディキリ） 9/14～18  
※ U-19 ビーチバレーボールアジア選手権大会（未定）にて出場権を獲得して本戦での上位を狙う。
- ・世界大学選手権大会（アメリカ／レークプラシッド） 8/24～28

## 2. 国際大会開催事業及び国際貢献・交流事業

### (1) 国際大会開催事業

#### 1) FIVB バレーボールネーションズリーグ 2022 男子大阪大会

- ・開催期間： 7月5日（火）～10日（日）
- ・開催都市： 大阪府大阪市（丸善インテックアリーナ大阪）
- ・出場チーム： 日本、アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、アメリカ（選手団160人、競技役員200人、計360人が参加予定）
- ・試合数： 16試合  
※7月5日（火）2試合  
※7月6日（水）2試合  
※7月7日（木）3試合  
※7月8日（金）3試合  
※7月9日（土）3試合  
※7月10日（日）3試合

2) 2022 男子バレーボール世界選手権壮行試合 日本代表紅白戦 in 沖縄

- ・開催期間： 7月30日(土)～31日(日)
- ・開催都市： 沖縄県沖縄市(沖縄アリーナ)
- ・出場チーム： 男子日本代表チーム(選手団30人、競技役員100人、計130人が参加予定)
- ・試合数： 2試合 ※7月30日(土) 男子1試合  
※7月31日(日) 男子1試合

3) 2022 女子バレーボール世界選手権壮行試合 日本代表紅白戦 ミズノマッチ in 岡山

- ・開催期間： 8月13日(土)～14日(日)
- ・開催都市： 岡山県岡山市(ジップアリーナ岡山)
- ・出場チーム： 女子日本代表チーム(選手団30人、競技役員100人、計130人が参加予定)
- ・試合数： 2試合 ※8月13日(土) 女子1試合  
※8月14日(日) 女子1試合

4) 2022 女子バレーボール世界選手権壮行試合 日本代表紅白戦 ミズノマッチ in 姫路

- ・開催期間： 8月20日(土)～21日(日)
- ・開催都市： 兵庫県姫路市(ヴィクトリーナ・ウイング体育館)
- ・出場チーム： 女子日本代表チーム(選手団30人、競技役員100人、計130人が参加予定)
- ・試合数： 2試合 ※8月20日(土) 女子1試合  
※8月21日(日) 女子1試合

※上記1)～4)の開催内容については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により変更が生じる可能性あり

(2) 国際貢献・交流事業

1) FIVB 及び AVC 役員等派遣事業

FIVB および AVC の理事職および競技運営、審判規則、指導普及、医事ほか各種委員会の委員として JVA の代表を派遣し、世界のバレーボール界の発展に寄与するとともに国際的な貢献を行う。

本年は、FIVB および AVC 理事会ほか、各種会議に当該メンバーを派遣するとともに、国際レベルの指導者講習会への講師の派遣と FIVB および AVC が主催する大会への競技役員ならびに審判員を派遣する。

2) バレーボールバンク事業

自国におけるバレーボール普及発展のため用器具等の支援が必要な国に対し、競技会やトップバレーボールチームが使用したボール、その他バレーボール用器具を寄贈して競技の普及を図り、同時に様々なバレーボール情報を提供し、国際社会におけるスポーツ振興に寄与する。

併せて同事業の戦略的展開を通じ、寄贈対象となった各国のバレーボール協会(NF)との友好を結び、連携強化を図る。

3) 国際移籍 (International Transfer Certificate)

FIVB が定める手続きに従い、国内リーグでプレーする外国籍選手および海外リーグでプレーする日本人選手の承認をNFとして行う。国内リーグ所属チームのサポートも含む。日本人選手については、所定の移籍金を徴収する。

3. 講習会開催事業、指導者、審判員等養成及び資格認定・登録事業

(1) 指導者養成事業 ※新規指導者資格受講希望者の養成

1) JSPO 公認スポーツ指導者養成事業 (資格認定講習会)

- ・ 競技別指導者資格  
コーチ4 専門科目講習会の開催  
コーチ3 専門科目講習会の開催  
コーチ1 専門科目講習会の開催  
(都道府県開催) コーチ2 専門科目講習会の開催支援  
コーチ1 専門科目講習会の開催支援  
スタートコーチの専門科目講習会の開催支援

2) JVA 公認指導者の養成事業 (資格認定講習会)

- ・ 小学生指導者資格  
一次講習会の開催  
二次講習会の開催
- ・ ソフトバレーボール  
アクティブリーダー養成講習会の開催  
マスターリーダー養成講習会の開催  
名誉マスターリーダー養成講習会の開催

3) JSPO 公認スポーツ指導者・JVA 公認指導者の養成講習会を開催するために講師の育成

- ・ JVA 公認講師  
認定講習会の開催

4) 指導者育成事業

- ・ JSPO・JVA 公認指導者  
※資格保有者の資格更新研修会およびスキル向上研修会  
JVA 指導者研修会の開催  
都道府県別指導者研修会の開催  
全国連盟指導者研修会の開催
- ・ ビーチバレーボール  
指導者研修会の開催
- ・ ソフトバレーボール  
アクティブリーダー研修会の開催

(2) 審判員養成・育成事業

国際大会における国際審判員の派遣および国内競技会の審判員派遣とともに、円滑な競技会運営のために、6人制・9人制・ビーチバレーボールの審判技術向上と審判員の養成・育成を目的に、主な事業を下記により開催する。



<b>【6人制】</b>	開催期間	開催地・会場等
全国ラインジャッジ・クリニック	4/29～5/1	大阪府（丸善インテックアリーナ大阪）
S1 レフェリー認定講習会	6/24～26, 7/1～3	V サマーリーグ開催地
S1、S2 レフェリー技術強化事業	8/10～16, 12/1～2	大阪府、東京都（全日本インカレ）
S3 レフェリー技術強化事業	5月～8月	全国各ブロックで開催
A級審判員資格取得審査講習会	8/10～14	大阪府（近畿大学予定）
A級審判員技術強化事業	11/29～11/30	東京都（全日本インカレ）
全国6人制審判講習会	2023年3月下旬	東京都
<b>【9人制】</b>		
N1 レフェリー認定講習会	5月上旬	大阪府 or 東京都
N2 レフェリー技術強化事業	5月～8月	全国各ブロックで開催
審判員育成事業	10/13～10/16 10/28～10/31	石川県（金沢市） 京都府（宇治市、向日市）
A級審判員技術強化事業	11/24～11/26	大阪府（丸善インテックアリーナ大阪）
全国9人制審判講習会	2023年3月下旬	大阪府（予定）
<b>【ビーチバレーボール】</b>		
B1 レフェリー認定講習会	4/23～24	静岡県浜松市
B2 レフェリー技術強化事業	5月～8月	全国各ブロックで開催
A級審判員技術強化事業	8/9～8/11	神奈川県川崎市
全国ビーチバレーボール審判講習会	2023年3月下旬	神奈川県（予定）

### (3) 審判員資格認定事業

競技会における審判員の資格審査認定講習会を開催し、登録部が審判員の登録を管理する。

- A級審判員    ○A級候補審判員    ○B級審判員    ○C級審判員  
○ビーチバレーボール審判員

## 4. 全国大会等国内競技会開催事業

### 【バレーボール】

#### (1) 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会

日本の6人制バレーボール最高のチームになる栄誉を競い、本協会の根幹となる天皇杯・皇后杯の名を冠するに相応しい、国内最高峰に位置づけられている大会である。本年は以下の日程で開催する。

- 1) 都道府県ラウンド (県代表 1 チームを選出)
    - ・開催期間： 4～7 月
    - ・開催都市： 各都道府県内体育館
  - 2) ブロックラウンド (ブロック代表 16 チームを選出)
    - ・開催期間： 9～10 月
    - ・開催都市： 各ブロック内体育館
  - 3) ファイナルラウンド：男子 26 チーム、女子 28 チーム  
(ブロック代表 16 チームに V. LEAGUE の D1 チームを加える)
    - ・開催期間： 12 月 9 日～11 日 (1 回戦～準々決勝)  
12 月 17～18 日 (準決勝・決勝)
    - ・開催都市： 東京都調布市 (武蔵野の森総合スポーツプラザ)、渋谷区 (東京体育館)
- (2) 全日本小学生大会 (男女・混合大会)
- 教育的配慮のもとにバレーボールを通じて全国児童の親睦と交流を図ること、バレーボールによる小学生の体力向上とたくましさの醸成に努めること、小学生から正しいバレーボールの基本技術とチームプレーを体得し、楽しいゲームが出来るように指導することを目的に、以下の日程で開催する。
- 1) 都道府県大会
    - ・開催期間： 4～7 月
    - ・開催都市： 各都道府県内体育館
  - 2) 全国大会
    - ・開催期間： 8 月 9 日～12 日
    - ・開催都市： 東京都渋谷区、大田区、町田市、神奈川県相模原市、埼玉県さいたま市、千葉県浦安市
- (3) JOC カップ全国都道府県対抗中学大会
- 将来のオリンピック選手の発掘と中学生バレーボールのレベルアップを図り、各チームとの交流を通して友情を深め、フェアプレー精神の高揚を目指し、中学生指導者の研修の場とすることを目的に、以下の日程で開催する。
- ・開催期間： 12 月 25～28 日
  - ・開催都市： 大阪府大阪市
- (4) 全日本高等学校選手権大会
- 都道府県予選を勝ち抜いた高校から日本一を決める大会として以下の日程で開催する。
- ・開催期間： 2023 年 1 月 4～8 日
  - ・開催都市： 東京都渋谷区 (東京体育館)
- (5) 秩父宮賜杯・秩父宮妃賜杯全日本大学選手権大会
- 大学在校生で構成され全日本学連に有効に登録された大学で、地区学連より選抜されたチームが参加できる大会として、以下の日程で大学日本一を決める大会を開催する。

1) 秩父宮賜杯全日本大学選手権大会（男子）

- ・開催期間： 11月28日～12月4日
- ・開催都市： 東京都ほか

2) 秩父宮妃賜杯全日本大学選手権大会（女子）

- ・開催期間： 11月28日～12月4日
- ・開催都市： 東京都ほか

(6) 上記の各競技会に加え、JVA主催、開催地都道府県協会等の主管により、以下の各種別全国大会を開催する。

大会名等	開催期間	開催都市
第8回全日本9人制バレーボールトップリーグ男子 レギュラーラウンド： ファイナルラウンド：	調整中	調整中
第74回全日本9人制実業団女子選手権大会 第75回全日本9人制実業団男子選手権大会	7/16～18	福岡県久留米市
第41回全日本9人制クラブカップ女子選手権大会	8/12～14	大阪府大阪市
第41回全日本9人制クラブカップ男子選手権大会	8/11～14	静岡県浜松市
第21回全国社会人東ブロック男女優勝大会	10/13～16	石川県金沢市
第21回全国社会人西ブロック男女優勝大会	10/28～31	京都府宇治市、向日市
第91回全日本9人制総合女子選手権大会 第92回全日本9人制総合男子選手権大会	11/25～27	大阪府大阪市
第13回全国6人制バレーボールリーグ 総合男女優勝大会（地域リーグ） （東西決勝リーグ） （グランドチャンピオンマッチ）	4月～12月 2023年1月～3月 2023年3月	全国各地 調整中
第70回黒鷲旗全日本男女選抜優勝大会	4/30～5/5	大阪府大阪市
第41回全日本6人制クラブカップ女子選手権大会	7/28～7/31	山形県山形市
第41回全日本6人制クラブカップ男子選手権大会	8/4～7	岡山県岡山市
第25回全国ヤングクラブ優勝大会	9/24～25	大阪府門真市ほか
第11回全国ソフトバレースポレクフェスティバル	9/23～25	長野県長野市
第24回全国ソフトバレーレディースフェスティバル	10/14～16	福島県福島市
第30回全国ソフトバレーシルバーフェスティバル	11/18～20	高知県高知市
第7回全国ソフトバレー・フリーフェスティバル	11/12～13	宮城県仙台市
第13回全国ヴィンテージ8's交流大会	調整中	沖縄県

(7) 公益財団法人日本スポーツ協会（JSP）との共催により、以下の大会を開催する。

1) 第77回国民体育大会

①ビーチバレーボール

- ・日程： 9/10～13
- ・開催都市： 栃木県足利市

②6人制

- ・日程： 10/7～10
- ・開催都市： 栃木県佐野市、宇都宮市、鹿沼市

2) 第22回日本スポーツマスターズ2022

- ・日程： 9/ 23～26
- ・開催都市： 岩手県花巻市、紫波町、矢巾町

(8) 公益財団法人全国高等学校体育連盟との共催により、以下の大会を開催する。

1) 全国高等学校総合体育大会女子バレーボール競技

- ・日程： 7/29～8/1
- ・開催都市： 徳島県徳島市、鳴門市、北島町

2) 全国高等学校総合体育大会男子バレーボール競技

- ・日程： 8/4～7
- ・開催都市： 香川県丸亀市、善通寺市、三豊市

3) 全国高等学校定時制・通信制大会

- ・日程： 8/2～6
- ・開催都市： 神奈川県平塚市

(9) 公益財団法人日本中学校体育連盟との共催により以下の大会を開催する。

1) 第52回全日本中学校バレーボール選手権大会

- ・日程： 8/19～22
- ・開催都市： 秋田県秋田市、由利本荘市

**【ビーチバレーボール】**

(1) ジャパンビーチバレーボールツアー (BVT1)

2016年度より、これまでJVAが主催した「シリーズA」と日本ビーチバレーボール連盟(JBV)が主催した「JBVツアー」を統合し、「ジャパンビーチバレーボールツアー」として大会を新設して6年目となる。

日本におけるビーチバレーボール競技のより一層の発展と、日本から世界に羽ばたくビーチバレーボール選手の輩出を目的として、4～10月を基本に全国各地で大会を開催する。収益事業化、集客力の増大を目指し、都市部および観光地などでの開催を主とする大会構造の見直しを行ってきたが、全ての大会をシフトチェンジすることは難しく郊外での大会も柔軟に取り入れていく。

今後、都市部開催では興業をメインに露出度の拡大を図る。郊外では開催地へ還元ができる事業、イベント併催と若年層強化、普及育成の観点も視野に入れ活動する。

JBV主催で普及やアンダーエイジカテゴリー大会を中心とした「BVT2・3」との連携を強化し、ビーチバレーボール全体の普及発展に寄与することを目指す。

また、競技全体の商品価値を高めるべく、引き続き「BVT1」を主としたプロモーション拡充やブランディング強化を図る。

(2022年1月現在)

大会名等	開催期間	開催都市
立川立飛大会	5月	東京都立川市
沖縄大会	6月-7月	沖縄県豊見城市
大洗大会	7月	茨城県大洗市
平塚大会	9月	神奈川県平塚市
名古屋大会	9月	愛知県名古屋市
都城大会	9月	宮崎県都城市
松山大会	10月	愛媛県松山市
1件調整中(開催の有無未定)	4-11月	開催地未定
ファイナル グランフロント大阪大会	10月-11月	大阪府大阪市

※上記日程については1月現在の予定であり、鋭意調整中です。

## (2) 国民体育大会ビーチバレーボール競技(正式競技)

大会名等	開催期間	開催都市
第77回 国民体育大会	9/10 - 13	栃木県足利市

## (3) 日本選手権

各世代の日本一を決める日本選手権大会として、本年は以下の日程で実施する。

(2022年1月現在)

大会名等	開催期間	開催都市
ビーチバレー・ジャパンカレッジ2022 第34回全日本ビーチバレー大学男女選手権大会	8/9 - 11	神奈川県川崎市
ビーチバレーボールNEXT2022 第5回全日本ビーチバレーボールU-23男女選抜優勝大会	7/22 - 24	兵庫県明石市
第21回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会	8/8 - 11	大阪府阪南市
'22マドンナカップ in 伊予市 ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会	8/11 - 14	愛媛県伊予市
第36回ビーチバレージャパン	8/12 - 14	神奈川県藤沢市
第33回全日本ビーチバレー女子選手権大会	8/18 - 21	大阪府泉南郡岬町
第13回全国中学生ビーチバレー大会	8/17 - 18	神奈川県藤沢市
2022ビーチバレー・ルナカップ in 御宿 第5回大会	8/20 - 21	千葉県夷隅郡御宿町
第14回ビーチバレー川崎市長杯	10/8 - 9	神奈川県川崎市

## 5. マーケティング事業

JVAの事業を安定的に運営すべく、バレーボールの社会的な価値およびJVAが所有する各種プロパティの価値を向上するための適切なプロモーション活動を行い、JVAの事業に賛同いただいている協賛社とのパートナーシップ強化および新規協賛社の獲得に向け、積極的に活動を行う。

## 6. 用具、用品等の公認事業及びその他の公認物品販売事業

### (1) バレーボール用品・用具の公認・推薦事業

競技の公正、安全ほか競技者が安心して楽しくプレーできるように、ボール、ネットほか用品・用具の公認・推薦の認定を行うとともに、競技者及び体育施設等へ、より良い用品・用具が提供されるよう、販売・製造事業者への働きかけを行っていく。

また、公認審判員やソフトバレーリーダーなどに対しては、資格保有者としての自覚を促すため、公認物品の販売を通してその着用を推奨する。

### (2) ルールブック販売事業

バレーボールの愛好者、審判員、指導者をはじめとする多くの国民に対し、最新のルール情報を提供するために、公認ルールブックであるバレーボール6人制競技規則、同9人制競技規則、ソフトバレーボール競技規則、ビーチバレーボール競技規則を出版販売する。

## 7. V. LEAGUE 開催及び開催支援事業

Vリーグ機構が主催、JVAが共催する「V. LEAGUE (大会)」においても、JVAはバレーボールの普及・振興に寄与する目的で、大会にジュリーと審判員の派遣を行い、V. LEAGUEの試合運営並びに開催支援を行う。また、V. LEAGUEと相互の連携を積極的に行い、バレーボールコンテンツにおける大会等のマーケティングやプロモーションを、それぞれの大会を通して共同で参画できるように努める。

## 8. 収益事業

### (1) ファン向けサイトの運営事業

JVA ホームページとは別に、バレーボール日本代表オフィシャルファンサイト「バレともタウン」の充実を図り、JVAならではの情報をSNSと交えながら発信し、広くファン層にバレーボールの魅力を浸透させる。

### (2) 肖像使用許諾事業

JVA 登録選手の肖像権等の管理運営を行い、肖像権使用料収入を得て、一定額を肖像が使用された選手等に配分する。

### (3) バレーボール関連グッズの販売事業

バレーボールの魅力を高め、「する・観る」人口の拡大に貢献するような商品の開発、販売を行う。

## 9. その他

### (1) 加盟団体との連携強化

加盟団体と、国際大会や国内大会を含むJVAの各種事業において、連携および運営サポートを行い、相互の協力体制を確立し協働で運営にあたる。

- (2) JVA メンバー制度登録管理システム (Membership Registration System)  
登録規程の改訂とバレーボールを愛するすべての方々に参加いただけるバレーボールファミリー会員制度として構築する。
- (3) 競技者拡大活動  
近年の競技人口の減少は憂慮すべき事態であり、すべてのカテゴリーにおいて減少している。競技人口を増やすことは喫緊の課題であるため、競技者拡大に向けた事業の検証・整理を行い、現行の事業のリニューアルも含めた計画（中期・長期含む）を策定する。  
また、競技者の更なる拡大・競技の継続に向け、学校教育現場（小学校）におけるバレーボールプログラム”などの事業を実施し、競技者拡大を図ることを念頭に、今年度は以下の事業を実施する。
- 1) V リーグ選手と一緒にバレーボール教室  
小学生のバレーボール未経験者及び初心者を対象に、V リーグ選手（含 OB・OG）が参加してバレーボール教室を全国 5 会場で開催予定。
  - 2) 中学校ビギナー選手バレーボール大会推進  
中学 1 年生からバレーボールを始めた選手への競技継続のモチベーションの促進とともに、競技の魅力及び競技力の向上を目的とするためのバレーボール教室及び大会を開催する。
  - 3) 全国小中一貫バレーボール教室  
小・中学生合同のバレーボール教室を実施する。一貫指導の充実とバレーボール人口の増加を図ることを目的として、全国 2 会場（予定）で開催する。（開催地については調整中）
  - 4) 幼稚園・保育園等でのソフトバレーボール（風船等）実践  
ソフトバレーボールを通して、幼児期にバレーボールの楽しさを伝えるとともに、ボールを使ったコーディネーショントレーニングを実践し、幼少期の運動能力・発育を促す事業を展開する。
  - 5) アンダー10 大会促進  
小学 4 年生以下を対象としたチーム内でレギュラー以外の選手の競技継続を目的とした大会を開催し、ボール接触機会と競技の楽しさを味わってもらうとともに、次カテゴリーでのバレーボール継続を促進する。
- (4) 競技の高潔性を保ちアンチ・ドーピングを遵守する。公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）との更なる連携を図り、ドーピング検査の実施や教育・啓発活動を推進する。特に、日本代表選手（シニア・ユニバ・ジュニア・ユースを含む）やトップリーグの選手・チームスタッフに対して講習会を実施し、バレーボール界における更なるドーピング知識の浸透を図る。

以上